

ほすびたる

No.714

平成 29 年 7 月 20 日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報 福岡県病院協会第 5 回定時会員総会 公益社団法人福岡県病院協会事務局 ①

病院管理 当院回復期リハビリテーション
病棟の御紹介 社会医療法人 原土井病院
リハビリテーション科 志岐 精治 ⑥

福岡大学病院の地域連携 福岡大学病院 地域医療連携センター
事務室長補佐 古川 薫輝 ⑧

ICT 仮想化という名の現実その後（第 2 報） 宗像医師会病院
企画情報管理室 室長 小齊 勉 ⑩

臨 床 栄養部の取り組みについて 福岡大学病院
栄養部 副技師長 倉橋 操 ⑬

看護の窓 就任のご挨拶 公立八女総合病院企業団
看護部長 井樋 涼子 ⑯

看護管理者が学び続けるため
に教育機関としてできること 国際医療福祉大学九州地区生涯教育センター
認定看護管理者教育課程 専任教員 末本 智子 ⑰

Letter ひらめ 関くということ 学校法人原学園原看護専門学校 学校長
国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元則 ⑳

E s s a y 芭蕉はなぜ九州に来なかったか 元医療法人誠十字病院
平衡神経科 医師 安田 宏一 ㉒

人体旅行記「太 腿」（承前） 国立病院機構九州医療センター
医療情報管理センター 部長 吉住 秀之 ㉓

■福岡県私設病院協会
平成 29 年 6 月福岡県私設病院協会の動き ㉔

■福岡県病院協会だより ㉕

■編集後記 岡嶋泰一郎 ㉖

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 江 頭 啓 介

専務理事	佐田 正之	理 事	津留 英智
理 事	原 寛	監 事	杉 健三
理 事	陣内 重三	監 事	松村 順
理 事	牟田 和男	事務局長	関 賢司

〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

福岡県病院協会 第5回定時会員総会

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

日 時 平成29年6月27日(火) 17時～
場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡2階
シャンプアーニュー=福岡市博多区博多駅前3-3-3
出席者 当日出席者 29名
委任状提出者 174名
計203名(総会員数 248名中)

■開会宣言

平祐二専務理事は、第5回定時会員総会開会を宣言。

■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、定款第22条による定足数は総会員数248名の過半数125名であり、出席者は委任状提出者を含めて203名で定足数を超えており、総会は適法に成立する旨を報告。

■会長挨拶

石橋達朗会長挨拶。

■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、医療法人西福岡病院理事長安藤文英氏と社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院院長島弘志氏を選出。

■議案審議(岡嶋副議長)

○第1号議案「平成28年度事業報告について」

平専務理事から概ね次のように報告された。

I 総務関係～会員数について

平成28年度は、入会者は1会員、退会者は4会員であり、この結果、同年度末の会員数は248名である。

II 総会の開催状況

1 第4回定時会員総会

期 日 平成28年6月27日

場 所 福岡市博多区博多駅南二丁目
福岡県医師会館 研修室3

議案等 次の議案について原案どおり

承認された。

- (1) 平成27年度事業報告について
- (2) 平成27年度収支決算について
会計監査報告
- (3) 役員の選任について
- (4) 参与の委嘱について

2 平成28年度臨時会員総会

期 日 平成29年3月28日

場 所 福岡市博多区博多駅中央街
1番1号

JR博多シティ10階会議室

議案等 次の議案について原案どおり
承認された。

- (1) 平成29年度福岡県病院協会事業計画について
- (2) 平成29年度福岡県病院協会収支予算について
- (3) 事務局職員の就業規程、退職金規程について

III 理事会について

8月を除き毎月理事会を開催し、会務の執行に当たった。

IV 「ほすびたる」関係

ほすびたる編集委員会を毎月開催し、No.699(平成28年4月号)から、No.710(平成29年3月号)まで「ほすびたる」を12回発刊した。

V 研修会・県民公開医療シンポジウム等関係

1 各種委員会等の開催状況

看護委員会(第1回H28.4.27、第2

回 H29.1.25)、経営管理委員会（第 1 回 H28.7.8、第 2 回 H28.11.9、第 3 回 H29.3.22)、栄養管理委員会（第 1 回 H28.10.12、第 2 回 H29.3.8)、臨床検査委員会（第 1 回 H28.10.21)、医療事務委員会（第 1 回 H28.7.19、第 2 回 H28.10.24)、リハビリテーション委員会（第 1 回 H28.7.14、第 2 回 H28.11.24)、診療情報管理研究委員会（第 1 回 H28.8.2)、企画委員会（第 1 回 H29.2.28)、病院委員会（第 1 回 H28.11.8)を延べ 15 回開催し、各研修会の企画立案等について協議した。

また、平成 28 年 12 月 6 日には、参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会を開催した。

2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

月別	研修会名	開催期日	会場	参加者数
6 月	第146回看護研修会	28. 6.28	九州大学医学部百年講堂	432 名
8 月	第147回看護研修会	28. 8.22	ナースプラザ福岡	402 名
	第1回経営管理研究会	28. 8.24	九州大学医学部百年講堂	284 名
	第65回栄養管理研修会	28. 8.27	九州大学医学部百年講堂	232 名
10 月	第1回リハビリテーション研修会	28.10. 1	九州大学医学部百年講堂	235 名
	第148回看護研修会	28.10. 7	ナースプラザ福岡	410 名
11 月	第53回診療情報管理研究研修会	28.11.28	九州大学医学部百年講堂	212 名
12 月	第149回看護研修会	28.12.15	九州大学医学部百年講堂	283 名
2 月	第1回臨床検査研修会	29. 2.18	九州大学医学部百年講堂	96 名
	第2回リハビリテーション研修会	29. 2.25	ナースプラザ福岡	261 名
	第2回経営管理研究会	29. 2.27	九州大学医学部百年講堂	99 名
3 月	平成28年度病院管理研修会	29. 3.15	九州大学医学部百年講堂	177 名

	第54回診療情報管理研究研修会	29. 3.16	九州大学医学部百年講堂	196 名
	第116回医療事務研究会	29. 3.27	九州大学医学部百年講堂	93 名
9 月	第10回県民公開医療シンポジウム	28. 9.17	アクロス福岡国際会議場	147 名

Ⅵ その他の事項（主なもの）

- 1 平成29年 1 月27日、ホテルグランヴィア広島（広島市）において、広島県病院協会の主催により、第22回四県（福岡、岡山、広島、山口）病院協会連絡協議会が開催され、当協会からは 3 名が参加した。
- 2 カネミ倉庫株式会社代表取締役から契約更新願いがあった「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を平成28年12月14日付けで 1 年間更新した。

以上、第 1 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第 2 号議案「平成28年度収支決算について」

Ⅰ 平成28年度収支決算

澄井財務理事から収支決算について、「貸借対照表」及び「平成 28 年度正味財産増減計算書内訳表」に基づき概要について説明が行われた。

なお、「貸借対照表」及び「平成 28 年度正味財産増減計算書内訳表」は、別表のとおりである。

Ⅱ 平成28年度収支決算に係る会計監査報告

原監事から、平成 28 年度の会計については、収支決算書のとおり適正に処理されている旨報告された。

以上、第 2 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

【別表】貸借対照表
(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,117,223	2,770,849	－ 653,626
普通預金	1,617,121	1,364,363	252,758
定期預金	500,000	200,000	300,000
郵便振替	102	1,206,486	－ 1,206,384
未収会費	400,000	450,000	－ 50,000
未収金	20,000	50,000	－ 30,000
広告料	20,000	10,000	10,000
その他		40,000	－ 40,000
前払金	832,700	35,700	797,000
流動資産 合計	3,369,923	3,306,549	63,374
2 固定資産			
基本財産			
その他固定資産			
退職給与積立金	5,540,314	5,540,000	314
財政調整積立金	10,000,000	10,000,000	
特定資産 合計	15,540,314	15,540,000	314
固定資産 合計	15,540,314	15,540,000	314
資産の部 合計	18,910,314	18,846,549	63,688
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	140,587	140,145	442
前受金	433,900	343,900	90,000
会 費	100,000		100,000
広告料	333,900	343,900	－ 10,000
預り金	254,297	232,143	22,154
社会保険料	70,352	78,198	－ 7,846
雇用保険料	48,055	61,025	－ 12,970
源泉所得税	75,890	82,920	－ 7,030
その他	60,000	10,000	50,000
流動負債 合計	828,784	716,188	112,596
2 固定負債			
負債の部 合計	828,784	716,188	112,596
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	18,081,453	18,130,361	－ 48,908
正味財産の部 合計	18,081,453	18,130,361	－ 48,908
負債及び正味財産 合計	18,910,237	18,846,549	63,688

【別表】正味財産増減計算書内訳表（抜粋）

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：円）

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
(1) 経常収益										
特定資産運用益			20,500	20,500						20,500
受取入会金			5,000	5,000					5,000	10,000
受取会費			3,729,900	3,729,900			1,864,950	1,864,950	6,838,150	12,433,000
事業収益	1,020,000	10,052,000		11,072,000	1,308,000	1,583,000		2,891,000		13,963,000
受取補助金等	625,000	1,875,000		2,500,000	2,888,000	722,000		3,610,000		6,110,000
雑収益		8,900	20,500	29,400		1,500		1,500	2,770	33,670
経常収益計	1,645,000	11,935,900	3,775,900	17,356,800	4,196,000	2,306,500	1,864,950	8,367,450	6,845,920	32,570,170
(2) 経常費用										
事業費	4,163,312	14,423,462		18,586,774	6,995,659	1,356,121		8,351,780		26,938,554
管理費									5,630,524	5,630,524
経常費用計	4,163,312	14,423,462		18,586,774	6,995,659	1,356,121		8,351,780	5,630,524	32,569,078
当期計上増減額	-2,518,312	-2,487,562	3,775,900	-1,229,974	-2,799,659	950,379	1,864,950	15,670	1,215,396	1,092
2 経常外増減の部										
税引前当期一般正味財産増減額	-2,518,312	-2,487,562	3,775,090	-1,229,974	-2,799,659	950,379	1,864,950	15,670	1,215,396	1,092
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-2,518,312	-2,487,562	3,775,900	-1,229,974	-2,799,659	950,379	1,864,950	15,670	1,165,396	-48,908
一般正味財産期首残高	-7,790,010	-7,645,813	16,604,200	1,168,377	-5,876,620	4,046,307	1,905,280	74,967	16,887,017	18,130,361
一般正味財産期末残高	-10,308,322	-10,133,375	20,380,100	-61,597	-8,676,279	4,996,686	3,770,230	90,637	18,052,413	18,081,453
II 指定正味財産増減の部										
III 正味財産期末残高	-10,308,322	-10,133,375	20,380,100	-61,597	-8,676,279	4,996,686	3,770,230	90,637	18,052,413	18,081,453

○ 第 3 号議案「理事の補充選任について」

平専務理事は、産業医科大学病院院長の佐多理事が 3 月末に退職されたので、理事の後任には、同じ産業医科大学病院の新院長である、尾辻豊氏にお願いしたいと述べた。

以上、第 3 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第 4 号議案「参与の委嘱について」

平専務理事は、現在の参与については、2 年間の任期がこの 6 月末で終了するため、新たな参与の推薦を各団体をお願いしたところ、第 4 号議案にある方々を推薦されたと報告した。福岡県薬剤師会を除き、再任となり、任期は来月から、平成 31 年 6 月末までの 2 年間となる。

以上、第 4 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○ 第 5 号議案「平成29年度福岡県病院協会事業計画書の修正について」

平専務理事は以下のように説明した。

平成 29 年度福岡県病院協会事業計画書については、本年 3 月 28 日の臨時会員総会で一旦承認頂いたが、平成 28 年度の事業計画書と表現が大きく異なっていました。事業計画書を変更するには、予算の組み替え等が必要であると、行政庁からの指摘を受けたので、改めて、平成 28 年度提出の事業計画書と同様なものを事業計画書としたい。

以上、第 5 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■ 総会終了

平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会が述べられ、第 4 回定時会員総会は滞りなく終了した。

公益社団法人 福岡県病院協会 役員等名簿
(任期：平成 28 年 6 月 27 日～平成 30 年度定時会員総会終結時)

役職名	氏 名	所属病院及び役職
会 長	石 橋 達 朗	九州大学病院 病院長
副 会 長	志 波 直 人	久留米大学病院 病院長
〃	尾 辻 豊	産業医科大学病院 病院長
〃	井 上 亨	福岡大学病院 病院長
〃	竹 中 賢 治	福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長
専務理事	平 祐 二	医療法人 原三信病院 理事長兼院長
総務理事	上 野 道 雄	国立病院機構 福岡東医療センター 名誉院長
財務理事	澄 井 俊 彦	国立病院機構 小倉医療センター 院長
企画理事	壁 村 哲 平	福岡市医師会成人病センター 院長
理 事	安 藤 文 英	医療法人 西福岡病院 理事長
〃	飯 田 三 雄	公立学校共済組合 九州中央病院 病院長
〃	一 宮 仁	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 院長
〃	江 頭 啓 介	医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長兼院長
〃	岡 留 健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	大 塚 毅	宗像医師会病院 院長
〃	小 嶋 享 二	福岡県立精神医療センター 太宰府病院 院長
〃	小 柳 左 門	社会医療法人 原土井病院 病院長
〃	島 弘 志	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 病院長
〃	津 留 英 智	医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院 理事長
〃	寺 坂 禮 治	福岡赤十字病院 院長
〃	深 堀 元 文	医療法人社団益豊会 今宿病院 理事長兼院長
〃	増 本 陽 秀	飯塚病院 院長
〃	村 中 光	国立病院機構 九州医療センター 院長
〃	吉 田 正	地方独立行政法人 筑後市立病院 理事長兼院長
〃	吉 村 恭 幸	一般社団法人 福岡県社会保険医療協会 会長
監 事	津 田 泰 夫	福岡通信病院 院長
〃	原 寿 郎	福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 院長
議 長	岡 嶋 泰一郎	社会保険仲原病院 院長
副 議 長	梅 野 守 男	早良病院 院長
顧 問	今 泉 暢登志	医療法人済世会 河野病院 院長
〃	河 野 正 美	医療法人済世会 河野病院 理事長
〃	瓦 林 達比古	公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団 理事長
〃	久 保 千 春	九州大学 総長
〃	八 木 博 司	特定医療法人八木厚生会 八木病院 会長

当院回復期リハビリテーション病棟の御紹介

社会医療法人 原土井病院
リハビリテーション科

志岐 精治

回復期リハビリテーション病棟の病床数は右肩上がり増加しており、福岡県は東京都・大阪府に次ぐ病床数を数えます。当院は全 556 床の内、入院料 1 の病棟が 50 床、入院料 2 の病棟が 54 床と計 104 床の回復期リハビリテーション病床を有しています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合わせて 70 人以上のセラピストが在籍しており、1 日最大 3 時間、365 日リハビリテーションを行える体制をとっています。

入院から退院までの主な流れを御説明致します。まず担当スタッフ全員で入院患者さんの状態評価を速やかに行います。チームカンファレンスを行い、そこで全身状態や短期～中・長期のリハビリテーションや看介護のプラン、退院後の方針についてチームで情報を共有します。そして、その内容を患者さんやその御家族に御説明をします。チームには医師、歯科医師、看護師、介護士、セラピスト、管理栄養士、医療相談員等が含まれております。その後も患者さんの状態変化によりチームカンファレンスを適宜行います。必要に応じて試験外泊や家屋調査、退院前カンファレンスも行います。

ここまでは多くの回復期リハビリテーション病棟（病院）で行われていることと存じます。ここからは当院の回復期リハビリテーション病棟の特色を御紹介致します。周辺の急性期病院からの御紹介による入院患者さんも多数いらっしゃいますが、当院は急性期や亜急性期の病棟を有しており、それらの病棟からの転入の患者さんもいらっしゃいます。また、医療療養病棟も有しており、グループには多数の介護・福祉

施設があり病院内やグループ内でもシームレスなリハビリテーションや多岐に渡るサービスを提供することが可能です。また、様々な専門性を持った医師が多数在籍しており、院内で速やかに患者さんの病態・病状についてコンサルテーションが可能です。整形外科では全身麻酔による手術も積極的に行っております。また、嚥下障害の状態評価に長けた歯科医師も在籍しており、嚥下造影や嚥下内視鏡検査を行うことにより嚥下訓練の方法や食形態の検討の際には適格なアドバイスをして貰えます。また、嚥下のみならず NST（nutrition support team）にも加わって頂いており、管理栄養士とタイアップすることによりサルコペニアの予防や治療にも一役買って貰っております。

また、当院のリハビリテーションの特色として多様な治療器具や訓練器具も用いることが挙げられます。例えばロボットスーツ HAL や Honda 歩行アシストといったロボットリハビリや IVES（integrated volitional control electrical stimulator）を用いたりハビリを行っております。より高負荷なリハビリが可能な患者さんにはパワープレートという訓練器具を用いたりハビリも行っております。何れの器具も患者さんの重症度や使用時期、適応の有無の判断は必要ですが、セラピストと十分な情報交換を行いそれらのリハビリの提供をしております。

現在の回復期リハビリテーション病棟ではアウトカムも求められます。今後も新しい器具や訓練法が出てくるとは思われますが、アウトカムやサービスのクオリティ向上にはやはり各専門職の個々の力量向上と情報共有が重要と考えら

れます。その為にも医師を中心とした勉強会等を積極的に実施しております。

最後になりますが、回復期リハビリテーションではアウトカムも大事であることは確かです。しかし、ここで言うアウトカムとはあくまで在院日数やFIM（functional independent measure）の変化率から導き出された数字でしかありません。更に重要なことは患者さんやその御家族の満足度であると思います。満足度と

は入院中はもちろん退院後維持期のリハビリテーションも含まれています。同じ様な機能障害、能力障害の患者さんでも以前の activity や社会背景、環境因子に因って個々のゴール設定は異なります。当院では全職種がそのことを常に意識しながら、患者さんや御家族により御満足頂けるようなリハビリテーションを提供していく所存です。



中面 HAL



Honda 歩行アシスト



パワープレート（イメージ）

福岡大学病院の地域連携

福岡大学病院 地域医療連携センター 事務室長補佐 古川 薫輝

平素より福岡県病院協会の先生方には福岡大学病院の診療活動に関して、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

また、この度はこのような機会を与えていただき、重ねて御礼申し上げます。

今回は当院の地域連携の取り組みについてご紹介させていただきます。

【断らない医療の実践】

平成27年12月に井上 亨(脳神経外科部長)が病院長に就任し、新しい病院体制となりました。これに伴い、地域医療連携センター長に石倉 宏恭(救命救急センター長)が着任し、地域医療に貢献する大学病院を目指して活動を開始しました。

井上病院長を中心とした病院執行部が始めて行ったのは、地域の先生方からご紹介いただく患者さんの診療依頼を断ることなく速やかに受入れる、【断らない医療】をスローガンにした取り組みでした。

第一に、地域の先生方からの外来診療依頼に対して、患者さんの希望を最優先に受診日を調整し、15分以内に事前予約の完了をお知らせできるよう内部の体制を一新しました。

また、急患受入では、「急患対応専用電話」を新設することで窓口を一本化し、地域の医療機関からの急患受入依頼を断らずに受け入れる体制も強化しました。

【断らない医療】を掲げてからまもなく1年半となります。件数は減ったとはいえ、いまだにお断りする事例はなくなりません。これからも地域医療連携センターが中心となり、【断ら

ない医療】の実現に向けて邁進する所存です。

【地域医療連携センター専用車両の導入】

平成28年度から、地域の先生方のご要望やご意見を伺い、より緊密な地域医療連携を図るべく、近隣医療機関への訪問活動を本格的に開始しました。

現在では月に20～30施設を訪問し、地域の先生方との「顔の見える連携」が少しずつ前に進んでいる状況かと思えます。

井上病院長からの「地域医療連携センターは病院の顔である。これからも、もっともっと訪問医療機関を増やして欲しい」との意向を受け、平成29年3月に病院訪問専用車両を導入しました。(写真)これにより、今後はよりきめ細やかな訪問活動や医療連携が可能になると確信しています。



【連携医療機関登録制度】

平成29年6月には連携医療機関登録制度を設けました。地域包括ケアシステムが導入される中、患者さんを地域で見守る体制整備は急務です。この登録制度は、地域の医療機関との連

携をより緊密にし、切れ目のないシームレスな連携を図り、患者さんが安心して暮らせる地域体制の構築を目的に設立した制度です。

本制度に登録いただいた医療機関には、登録証をお届けすると共に、当院のホームページや院内掲示にて連携医療機関としてご紹介させていただきます。

また、登録医療機関の院長の顔写真や診療科目、診療内容、診療時間、所在地等を掲載した「かかりつけ医紹介用リーフレット」を作成し院内に配置することで、診療内容等のご案内もさせていただき、かかりつけ医をお探しの患者さんや、転院時の参考資料として活用したいと考えています。

現在、約 430 の医療機関が登録されています。これからも連携機関が増やせるよう頑張っていく所存です。



新館一階にコーナーを設け、「かかりつけ医紹介用リーフレット」を配置しています。

【学んで予防！《福大病院 健康セミナー》】

地域医師会の先生方と当院の医師とが協同して、地域住民を対象に健康セミナーを定期的に開催しています。

このセミナーでは、日頃住民の方が気になっ

ている、病気や健康維持に関するテーマについて、関係する診療科の先生や専門医により分かりやすくお話しいただきます。

また、ご講演いただいた先生方の専門分野や診療内容の紹介の場にもなっており、参加いただいた方々からは好評を頂いています。

本年度から早良区医師会のご協力も得られることとなり、今後はさらに対象地域を拡大していきたいと考えています。

【最 後 に】

当院の地域医療連携に関する活動の歴史は浅く、まだまだ他の医療機関の取り組みには及びませんが、これからも一つ一つ地道に積み上げていきたいと思っています。

今後も、【あたたかい医療】の理念のもと、地域包括ケアシステムの一員として、地域の医療機関関係者の皆さまと「顔の見える連携」に努めてまいります。加えて、皆様方からのアドバイスやご指導を参考に、お叱り・ご要望・ご意見を肝に銘じて頑張っていく所存です。これからの福岡大学病院にご期待ください。



上記写真は、福岡大学美術部学生の手による、当院の目指す「あたたかい医療」をイメージして作成されたイラストです。

ICT 仮想化という名の現実その後 (第2報)

宗像医師会病院
企画情報管理室 室長

小 齊 勉

昨年の夏、ちょうどリオ・オリンピックとポケモン GO で日本中が熱く賑わっていた頃、拙者は「ほすびたる」(No.705) で仮想現実 (VR…Virtual reality) と拡張現実 (AR…Argumented reality) を論じた。その中で幣院が HIS (病院情報システム) の PC 仮想化基盤の構築を行っている旨を説明したが、その後1年が経ちおかげ様で幣院のオーダーリングシステムの PC は全て仮想化に移行することができた。今回は仮想 PC 導入の経緯を通してその長短を含め状況を報告する。勿論、これが幣院以外の医療機関で必ずしもそのまま当てはまる訳ではないので参考程度に読んでいただければ幸甚である。

● PC 仮想化に至る経過

幣院は HIS 導入後 8 年が経過した。今から 3 年前の“PC 2014 年問題”、米国 Microsoft 社は Windows XP のサポートを終了し、セキュリティに纏わる脆弱性の対応いわゆる Windows アップデートを行わないことが社会的なトピックスにもなった。幣院でも HIS を含めかなりの PC が Windows XP の下で稼働し続けていたが、幸いにもコンピュータウイルスから PC を保護するソフトウェアを提供するメーカーより 2017 年中は Windows XP のウイルスセキュリティ対応を延長する旨の連絡があり、その間に当院において PC 本体の老朽化も加え HIS PC 更新が急務になっていた。今回当院が仮想化による PC 更新に至った経緯は大きく次の 2 点に依拠する。

① IT インフラ設備投資の費用対効果

Windows XP のサポート終了等、常にメーカーのサポートや OS (基本ソフトウェア) の更新等に依存している現在の PC 環境を抜本的に変えなければ、数年後早ければ 2～3 年後にはまた同じ状況を繰り返されることが危惧される。PC を仮想化することでこのような負のスパイラルから開放され長期的な視点でシステム全体の維持管理コストが軽減されると期待される。

② HIS の安全安心な利用

2016 年に実施された九州厚生局からの適時実地調査において検査官より「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した運用に鑑み PC 本体に保存されている医療情報はどのような機能あるいは運用でセキュリティを担保しているのか回答を求められた。一方、他の医療機関では医療で利用するノート型 PC について盗難等による個人情報漏洩を防止するため PC 筐体のチェーン掛けなどの安全対策を指導されている。PC 仮想化により物理 PC 本体に OS (基本ソフトウェア) 以外のアプリケーションソフトウェアやオーダーリングシステムからの医療情報を PC 本体に格納しないことで HIS の安全安心な利用に寄与できると期待される。

その後①については、既に 2017 年 4 月 Windows Vista (SP2)、2020 年には Windows 7 のサポート終了が Microsoft 社より発表されている。具体的な影響については今後検証され

と思われるが PC 仮想化により当該事項の懸案は概ね解決できるとと思われる。

● PC 仮想化基盤導入後の状況

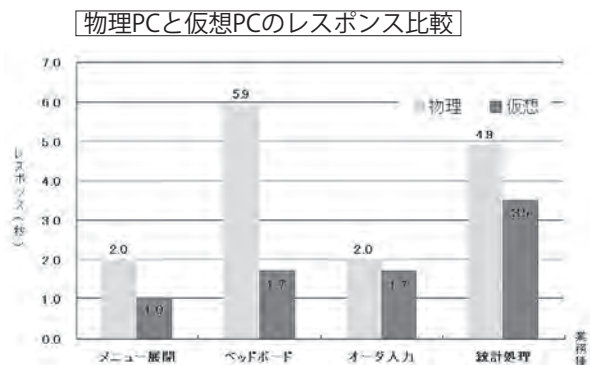
今回当院が実際に PC 仮想化基盤を構築した結果、現在どのような状況であるか長所と短所を踏まえ下記のような評価に纏めた。

① 仮想化の長所

- ・ PC を全て情報管理室で一元的に管理するため、ソフトウェアのインストールやアプリケーションの不具合等が発生した際に都度、現場に出向いて対応する必要がなくサーバ室内で作業が可能になった。
- ・ PC 仮想化に至る経過②の通り、PC 本体には OS 以外のアプリケーションやデータを保持しないため個人情報保護や盗難等のリスク回避で安全性が高まる。
- ・ PC 本体（物理 PC）の故障時や買換えの際に都度ソフトウェアを再インストールしたりセットアップする作業が不要になった。機器の交換だけで済むため短時間で作業が完了する。最近ではゼロクラと呼ばれる Windows OS を実装しないキーボードとマウスだけの PC のようで PC ではない端末を利用することもできる。画面描写機能さえあれば使えるので、極端なことを言えば iPad のようなタブレット端末やスマホ等スマートデバイスもアプリをインストールすることで利用できる。
- ・ 仮想化における技術基盤に VDI 方式を採用したことで画面転送のみとなり、LAN（ネットワーク）の負荷が大幅に軽減される。幣院でもオーダーリングシステムの画面展開が誰でも判るくらいレスポンスが早く

なつたと評価されている。

※ VDI 方式→ Virtual Desktop Infrastructure の略。仮想化における技術基盤のひとつ。VMware 社の Horizon View や Citrix 社の Xen Desktop 等の製品がある。



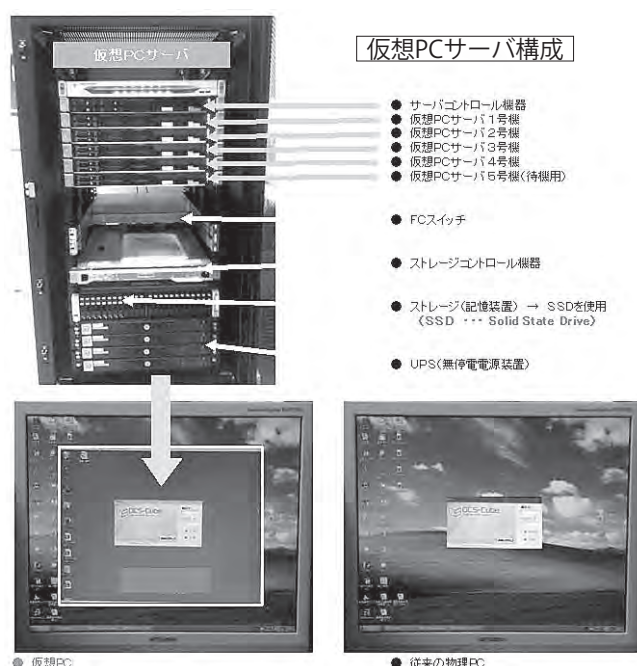
② 仮想化の短所

- ・ 仮想化の基盤である VDI 方式を採用するにあたり、ソフトウェアを開発したメーカーへのライセンス料支払いが発生する。
- ・ 仮想化 PC への OS 利用料が発生する。上記 VDI のライセンス料と似ているが、これまでは PC 本体を購入することでプリインストール済みの Windows OS は PC 本体に限って壊れるまで使い続けることができたが、仮想基盤上に構築した Windows OS は基本ソフトの買取りではなく利用料という名目で経費が発生する。今後は Windows OS に限らず、ソフトウェアは売り切りではなく利用料の徴収を行うことでメーカーはビジネスモデルを形成しつつあり、クラウドによるコンピュータ利用の形態はまさにその典型であると思われる。
- ・ 仮想 PC はモジュール毎に複数台のサーバに分散して配置するため、仮に 1 台のサーバが故障した際にはその配下の仮想 PC 全てに影響が生じる。幣院の場合だと仮想 PC40 台毎に 1 台のサーバで構成しているため、不具合があると 40 台の PC が一時的

ではあるが全て利用できない状態になる。そのためにバックアップ用のサーバを構成して常時待機状態にしておき、できるだけ速やかな復旧を行う仕組みを講じているが迅速とは言い難い。旧来の物理 PC であれば不具合が生じた PC のみが使えないだけで被害は局所的に限定され影響が少ない。仮想 PC はサーバ構成時に格納するサーバを考慮して設計するなどの工夫が求められる。

● ま と め

幣院では、HIS（病院情報システム）の更新を控え将来あるべきシステムの構成を検討している最中であり中でもサーバや PC クライアントの仮想化は今後病院にとって中核的な ICT インフラになるとの考えは前回の第 1 報から変わっていない。但し、当初期待された仮想化による経費削減については仮想化構築基盤におけるライセンス等の利用料発生のため、短期的な視点だと経費削減には繋がりにくいと思われる。また仮想 PC の障害時に対応できるようサーバ構成も事前に十分な検討が必要であることもわかった。



そのうえで、仮想化がクラウドや SaaS 等を構築するうえでの基盤となり、医療情報システムの安全な利用に資すると考えられることから長期的な視点で経費削減も含めて効果があると思われる。幣院でも今後の病院情報システム更新において PC の仮想化だけでなくサーバの仮想化についても検討していく予定である。

余談になるが、冒頭でも述べた厚労省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」が今年 5 月に第 5 版に改訂され、その中で私的スマートデバイスの業務利用、いわゆる BYOD (Bring Your Own Device) の原則禁止がはじめて示された。確かに得体の知れない個人持ちの端末から ID、PW でサーバにアクセスされる自体、セキュリティ上大きな問題であることは理解できる。しかしながら業務の外部利用のための端末等を全て医療機関より貸出すことになると、端末の費用や端末毎にかかる通信費など経費面で負担も大きいと言わざるを得ない。今後、私的デバイスでも安全に利用できるようアプリケーションをメーカーも開発して欲しいと願っている。

さて、病院全体の共有資産である情報システムを預かる部門にとって情報室における幣院病院長の心中「情報システム室は、聞いたことがないコンピュータ用語や意味不明な横文字を羅列して自らの主張を正論へと展開する特異な部署と心の中で思っている」は、その後もあまり払拭されたとはいえない。むしろ今回の HIS PC 仮想化基盤の構築によって益々その度合が高まった感さえある。

とは言うものの院長をはじめ職員に ICT を安全かつ便利に使ってもらうことが当該担当部署の責務である故、私たち情報システム室も日々研鑽しながら引き続きわかりやすい言語で丁寧に説明することが求められていることには変わらないと肝に銘じている。

栄養部の取り組みについて

臨床

福岡大学病院栄養部

副技師長 倉橋 操

福岡大学病院は、1973年8月に開設されました。病床数は915床（一般855床、精神60床）で、地域医療の中心を担っております。基本理念は“あたたかい医療”です。

開院当初、栄養部の運営形態は直営でしたが、調理業務の段階的な委託化をすすめ、平成28年度より完全委託（エームサービス株式会社）としております。現在栄養部は、栄養部長の医師1名、事務職1名、管理栄養士14名と委託会社スタッフ72名の総勢86名です。

「食で病を癒す！」が福岡大学病院栄養部のスローガンで、患者さんへの食事は、委託会社スタッフと協働し、「美味しく、治療効果の上がる食事」を目標としています。年齢や病状などに応じた適切な食事、食べやすい食事形態など患者さんの状態に適した食事が提供できるよう多種類の食事を準備しております。

平成28年4月調理業務の完全委託に続き、10月より献立業務、食材契約以外の給食業務を委託しました。業務内容の見直しとともに、栄養部のあらたな取り組みを行った2点を示します。

《病棟担当管理栄養士》

病院管理栄養士は、献立業務と栄養管理中心の業務を行っています。

入院している患者さんの約4割は、栄養不良状態であるといわれています。入院中の低栄養は、合併症や褥瘡の発生を増加させる、治療の中断や疾病の早期治癒を妨げる、入院日数が長くなる等の要因となります。栄養管理を行うこ

とで疾患からの早期回復および生活の質の改善を図ることを目的とし、管理栄養士の病棟担当制の運用を開始しました。

入院1～2日目に管理栄養士がベッドサイドに訪問し患者さんやご家族にお会いし、1人1人のアレルギー情報や嚥下・摂食状況を聞きとり状態を把握します。管理栄養士が得た情報に、看護師による主観的栄養評価（SGA 評価）を加え、特別な栄養管理の必要性があると判断された場合や栄養学的問題が存在する患者さんの栄養管理計画を立案します。年齢や性別、病態に合わせた適切な栄養量を示し、病歴を確認し適した特別治療食、咀嚼や嚥下の状態に合わせた食事形態の提案等を行います。また、食物アレルギーや食品と相互作用のある医薬品についての確認を行い安全な食事の提供に努めています。

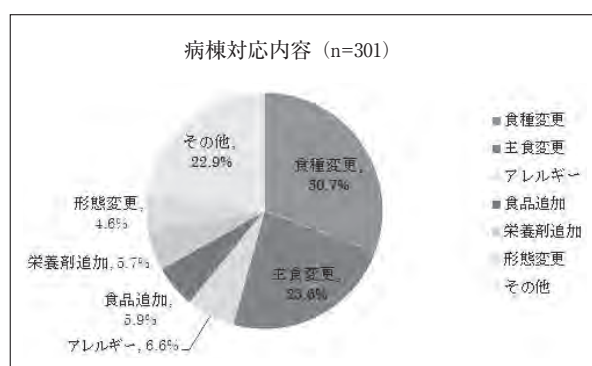
入院中は定期的に食事摂取量や輸液からの栄養投与量、身体状況などを評価します。食事摂取量が低下している患者さんには、病状や嗜好に合わせた食事となるよう、食事内容の検討や栄養補助食品の提案など個別対応を行い、栄養摂取量アップを図る努力をいたします。患者さんからの意見に対し、リアルタイムでの対応を心がけています。

病棟担当制を開始し、8カ月が過ぎました。管理栄養士が対応した件数は、1カ月平均301件です。ベッドサイドで患者さんと接することが多くなり、「硬い」「食べづらい」「飲み込みにくい」等の声をうかがうと、食事形態の検討や料理に使用する食品の調整等、日々よりよい食事の工夫を行っています。

病棟の看護申し送りや、各カンファレンス・回診同行などチーム医療に積極的に参加し、情報を共有することで患者さんの栄養改善に努めています。

退院後、自宅で過ごされる患者さんの栄養管理のために入院、外来の個人栄養指導を行っています。

病棟で患者さんと接することが増え、治療や手術の影響で低栄養となった場合の栄養状態の回復は時間を要し、困難な場合も少なくないことがわかりました。入院前からの食事管理の重要性を実感し、今後は、入院前の外来での個人栄養指導にも力をいれていきたいと考えています。



《糸島あじわいメニュー》

“病院でこんな食事を食べられるとは思わなかった！”

“食欲がなかったけど、糸島の食事は美味しく頂けた！”

“味もいいけど、食器がいいね！”

これは、当院の「糸島あじわいメニュー」を摂取された患者さんのご意見です。

平成28年7月より、「糸島あじわいメニュー」の提供を開始しております。

井上病院長の提唱で発足した“日本一おいしい病院食づくりプロジェクト”にて、管理栄養士、調理師（エームサービス株式会社）、そして看護部長と検討を重ね、半年間の準備期間を

経て、地元九州の食材を使用したメニューを開発いたしました。

九州の中でも「糸島」は、福岡市の西側に位置しており、美しい海と山に囲まれた自然豊かな地区で食材が豊富です。新鮮食材で全国一位の売り上げを誇る農産物直売所「JA糸島「伊都菜彩」(糸島市波多江)と連携し、“玄海ポーク”

“糸島牛”“天然の塩”“ヨーグルト”等の提供をしています。また、コリンキー(南瓜の品種)やスイスチャード(不断草)といった珍しい糸島産の新鮮野菜も取り入れ、通常の病院食では使用することができない食材を提供しています。メニュー作成では、赤、オレンジ、暖色系の色は食欲増進、青色系は食欲減退すると言われていますので、色味、彩りを考慮しました。いきいきとした食材を生かし、入院患者さんに喜んでいただけるようにと調理師が張り切って腕をふるっております。

食事は、まず、見た目が大事！ということで、食器にもこだわっています。佐賀県有田町とその周辺地域で製造される磁器の有田焼を中心に使用しております。集団給食に多く使われている軽くて割れないメラミン食器と比べて、有田焼の食器は、見栄えがよく、温かみを感じることができ、患者さんにとっても好評です。また、毎食ごとに季節感あふれる献立表をお出ししております。

患者さんからメッセージを頂くことも多く、調理スタッフの励みになっております。

このメニューの対象の方は、有料個室入室と分娩後の「常食」の方で、特別なご負担なく、サービスで提供しております。また、一般室入室の「常食」の方で、担当医の許可が得られた希望者についても、入院時食事療養費以外に1日800円の自己負担にて提供しております。食数は、1回40食前後です。

平成29年5月の患者アンケートでは、「普通」

以上の評価となっており、食事に対する評価は高い結果でした。

人は、食べることに楽しみ、喜びを感じ生き

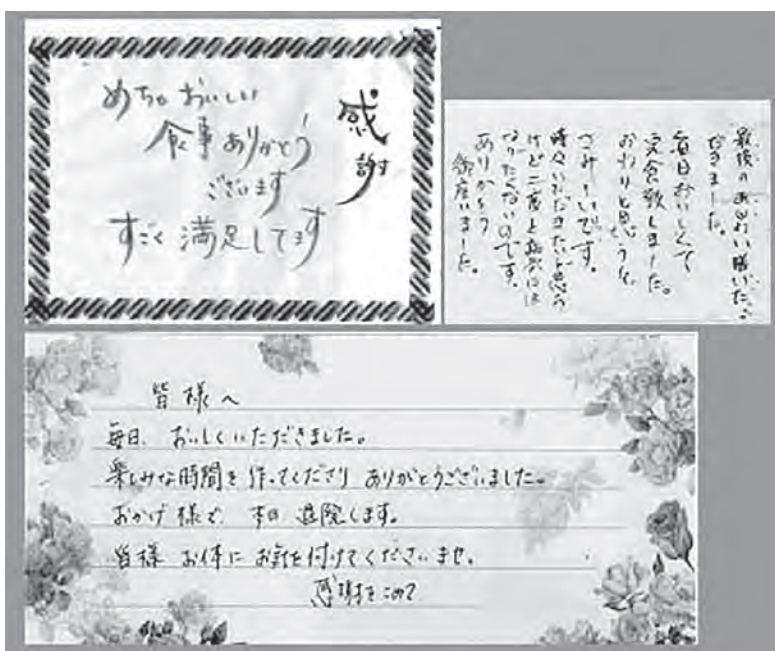
る源としています。これからも、患者さんと他部門の意見を取り入れながら栄養部門スタッフが一体となって、さらなる満足度の向上・栄養管理の充実につとめてまいります。



有田焼



心を込めてつくった料理



患者さんからのメッセージ



糸島あじわいメニュー

看護 の窓

就任のご挨拶

公立八女総合病院企業団
看護部長

井樋 涼子

2017年4月より、公立八女総合病院企業団看護部長を拝命致しました。

公立八女総合病院企業団は、八女市、広川町の公設病院であります。福岡県の南西部に位置し、八女市は、2010年、黒木町、立花町、矢部村、星野村との合併により、福岡県内第2位の広域都市となりました。豊かな自然、継承される伝統文化、肥沃な大地の実り、悠久の歴史があり、農産物や伝統工芸品で有名で、中でも八女で育ったお茶は、日本茶の最高級に選ばれています。人口65,027人（2017年4月現在）、市民の3人に1人は65歳以上の高齢者であるといった地域性も八女市の特徴といえます。

当院は、八女筑後医療圏の中核病院として、急性期医療、地域診療支援病院、地域がん拠点病院の役割を担っております。公立八女総合病院看護部は、「患者さんのところに響く優しい看護を提供します」と新たな理念を掲げました。「優しい」という言葉は、暖かさや愛情、思いやりといった様々な意味を有しています。優しく思いやりのある看護、根拠に基づいた適切で細やかな看護、患者の傍にいる看護の実践を目指します。患者さんが安心して入院治療を受けられるように、一人ひとりの身体的・精神的・社会的状態に対し、入院前から多職種で効率的に支援し、高度で安全な医療が提供できるよう、6月に入院支援センターを開設する予定です。また、退院後安心して在宅療養が出来る、再入院予防のための個別的なセルフケア能力向上の支援ができる、切れ目のない医療・ケアの提供ができるように、受け持ち看護師による退院後訪問を実施する準備を始めました。

患者さんの高齢化や重症化、診療報酬改定による在院日数の短縮、加速的に進む医療の高度化、日々進化を続けている技術、医療そのもののあり方が急速に変化している医療情勢や患者さんの高まるニーズにあった質の高い医療を提供するために、看護師の専門性、臨床実践能力を高める事は、必須課題であります。そこで本年度は、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」と当院のクリニカルラダーとの整合性を図り、看護師の看護実践力の向上に努めていきます。また、看護師個々が、常にキャリアアップを目指す組織（職場）を作り上げ、看護師達が、より一層看護研究に取り組める土壌作りをしたいと考えております。優れた人材は病院の宝であります。また優れた人材が育つことは、医療サービスの向上に直結していきます。患者さんにより安心・安全な看護を提供していくためにも優れた人材を育てるための教育改革、組織改革、個人のキャリア開発の支援に力を入れていきます。

公立八女総合病院には、現在320人の看護師が在籍しております。その一人ひとりが看護者としての倫理と実践力を身につけたうえで、医療チー



公立八女総合病院

ムの一員として貢献し、“自分の頭で考え・判断し・主体的に行動できる看護師”の育成を目指していきたいと考えております。

公立八女総合病院が、地域の皆さまに選ばれる病院になるため、看護師一人ひとりが患者さん

を敬う気持ちを忘れずに患者さんの心に寄り添う看護を提供できる、そのための環境づくり、看護師の意識改革に取り組んでいきたいと思ひます。

みなさまの温かいご支援をどうかよろしくお願ひいたします。



看護管理者が学び続けるために教育機関としてできること

国際医療福祉大学 九州地区生涯教育センター
認定看護管理者教育課程 専任教員

末本 智子

看護管理者が学び続けるためには、教育機関として何ができるのだろうか、窓から見える海を見ながら考えてみました。

少子超高齢化の時代において、医療を支える人材育成は喫緊の課題です。九州地区生涯教育センターは、国際医療福祉大学の理念である「共に生きる社会の実現」のもと、医療福祉専門職の専門能力向上のため2013年4月に設立されました。現在は、主に看護職を対象とした教育事業（保健師助産師看護師実習指導者講習会、認定看護師教育課程感染管理、認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル）を展開し、看護職の生涯教育を支援しています。当センターの強みは、大学との連携による質の高い教育が受けられることです。また、学習環境も整っており、早良区百道浜に位置していることから、教室の窓からは博多湾が一望できます。四季折々、違った表情の海を眺めることができ、日頃の疲れも少しだけ癒されるのではないかと思います。

私は、認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベルの専任教員として、受講生の学習支援、学習環境の調整、講義や演習の担当者としての役割を果たしています。認定看護管理

者教育課程の受講生との関わりの中で、強く感じることは看護管理者が学び続けることの重要性です。講義終了後の受講生のアンケートには、「組織ということ強く考えるようになった。病院組織の一員としてどのようなことが自分自身に期待されているのか考えることができた。」と前向きな意見がある一方で、「看護管理者としての知識不足を痛感した。」「自分の管理能力のなさに落ち込む。」といった意見もあります。

なぜ、臨床現場の看護管理者たちは自らの管理能力に自信が持てないのでしょうか。看護管理教育の歴史を紐解くと看護管理者の悩ましい現状が理解できます。看護基礎教育において、看護管理学の体系的な教育のあり方について議論されはじめたのは1990年代後半です。認定看護管理者制度が発足したのも1998年であり、看護管理を体系的に学ぶことができるようになった歴史が、まだまだ浅いことがわかります。

日本看護協会は、2015年に公表した看護の将来ビジョンの中で、「看護の質を保証する上で重要な役割を担う看護管理者の育成と支援を強力に推進する」としています。少子超高齢化時代を迎え、医療を取り巻く環境が激しく変化する中、

看護管理者には看護管理能力だけではなく、施設全体の管理、運営に参画し、経営に貢献することが求められます。時代のニーズに応えるためにも、看護管理者は学び続ける必要があります。日本看護協会の認定看護管理者制度では、看護職として就業しながら認定看護管理者教育課程ファーストレベル、セカンドレベル、サードレベルの3課程を順次受講し、看護管理に必要な知識を体系的に学ぶことができます。しかし、すべての看護職が認定看護管理者制度を活用して学ぶことができる環境が整っているとは言えません。また、認定看護管理者の資格を取得するためには、サードレベルの修了あるいは大学院で看護管理学修士号等の取得が求められており、認定看護管理者の資格取得のハードルも高いものがあります。

2016年現在、全国の認定看護管理者登録者数は2,983名で、その内福岡県の認定看護管理者登録者数は150名と全国で5番目に多い状況です。しかし、一方で福岡県の認定看護管理者の所属する施設を二次保健医療圏別にみると、全体の65%近くが福岡・糸島と北九州保健医療圏の施設に偏在しており、地域間格差が大きいことがわかります。看護の質を保証するためには、認定看護管理者のみならず、福岡県全体の看護管理者の育成と支援を強化する必要があると考えます。病院に従事する職員で最も多いのは看護職です。看護職がいきいきとやりがいを持って働くことができれば、病院の質の向上につながります。看護職がいきいきと働くためには、やはり看護管理者の存在が大きいと思います。

看護管理者を育成する自施設の課題は、質の高い認定看護管理者教育事業を行うと同時に、看護管理者同士が、圏域を越えた看・看連携ができるよう支援することです。認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベルのフォローアップ研修を開催する中で、強く感じることは同期の受講生同士のつながりが、いかに大切かということです。看護管理者は、日々山積する問題に

頭を悩ませ、葛藤しています。そんな時、頼りになるのはやはり同じ悩みを抱えている看護管理者の仲間です。メールで簡単につながることができる便利な時代ではありますが、当センターでの出会いをきっかけとして顔の見えるつながりが実現できればと思います。

「教えるとは、未来を共に語ること

学ぶとは、^{まこと}真実を胸に刻むこと」

フランスの詩人ルイ・アラゴンの言葉です。臨床現場で日々の仕事に翻弄されていた時に出会った言葉です。認定看護管理者教育課程の専任教員になった現在、受講生とのかかわりの中で大事にしている言葉で、私の教育観の基軸となっています。日々時間に追われている臨床現場では「教える」ことが指示命令になってしまったり、「学ぶ」ことが一方的に与えられることになってしまいがちです。専任教員として受講生とともに未来を語り、混沌とした臨床現場の様々な問題の中から本質を見極め、^{まこと}真実は何か、大事なことは何かと考えられるような人材を育成したいと思います。

しんと静まりかえった教室。教室の窓から見える博多湾が初夏を思わせる海の色になると、そろそろ今年度のファーストレベルの開講です。今年はどんな出会いが待っているのか、どんなつなぎ役ができるのか楽しみです。看護管理者の皆さん！共に学び続けましょう。



9階のラウンジから撮影したアメリカズカップ2016
＝筆者撮影

おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

福岡県精神科病院協同組合

理事長 富松 愈

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F
TEL092-521-0690/FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする
福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

有限会社 DMS (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F
TEL092-525-7666・7667/FAX092-525-7668



一番大切な思いやり...

「安心・安全・清潔」

TAIYO 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社

〒812-0044 福岡市博多区千代 1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社

〒826-0042 福岡県田川市大字川宮 1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 中島 健介



医療関連
サービスマーク認定

太陽セランドグループ会社

！太陽セランドホールディングス株式会社
！太陽ホテルリネン株式会社
！株式会社セランド

！太陽セランド株式会社
！ジャパンエアマット株式会社
！株式会社 サンウエックス

！太陽インダストリー株式会社
！株式会社 北九州シーアイシー研究所
！株式会社 メディカルナビゲーション
！株式会社 おたふく屋

お問い合わせ TEL 0947-44-1847

Mail info@taiyoseland.co.jp

Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

ひらめ 閃くということ

学校法人原学園 原看護専門学校 学 校 長 朔 元 則
国立病院機構 九州医療センター 名誉院長

エウレカ

先月の Letter は「考えるということ」をテーマに取り上げたので、今月はそれと対をなす「閃^{ひらめ}き」について書かせていただく。広辞苑を翻いてみると、閃きという言葉は ① 瞬間的な鋭い光 ② すぐれた思い付きや直感、と解説されている。閃光はさておき、今月の Letter で論ずるのは②の意味での閃きである。

冒頭に掲げたエウレカという言葉は、閃くということに関しての有名なエピソードから引用したものである。紀元前 3 世紀、シチリア島シラクサの独裁者ヒエロン 2 世 (Hieron II, 前 306 頃～BC215) は黄金の冠の制作を思い立った。しかし製作を依頼した職人に「黄金に価格の安い銀を混ぜて冠を作っているのではないか？」という噂が持ち上がり、それがヒエロン 2 世の耳にまで届いたのである。そこで王はひとりの若者にその真偽を確かめる方法はないかと諮問した。

当時の科学のレベルでは、金属の配合比を調査するなど至難の業であった。思い悩んだ若者は、或る日気分転換のため風呂に入ることにした。たっぷりと湯を張った浴槽に若者が身を沈めていくと、浴槽から湯がザァザァと溢れ出した。その瞬間若者は浴槽から飛び出し、エウレカ (Eureka, わかったぞ) と叫びながら裸のまま王宮に向かって走り出したのである。この若者の名はアルキメデス (Archimēdēs, BC287? ～ 212)。今日まで 2000 年以上に亘って語り継がれている浮力と物質の比重の原理が発見された瞬間の有名なエピソードである。

科学の進歩は地道な実験の積み重ねと緻密な論

理の展開によってもたらされるものであるが、時には不意に訪れる飛躍的進展、即ち科学者の脳裡にもたらされる閃き (The eureka moment) もまた欠かせないものであろう。どのようにしたらこの閃きが得られるであろうか？

ニュートンの林檎

閃きをキーワードに科学史上の大発見を語る時、どうしても欠かせないのがニュートンと林檎のエピソードであろう。私はこの話は後世の伝記作家による作り話ではないかと思っていたのであるが、どうもそうではないようである。何故なら後年ニュートン本人が何度もこのエピソードを語っているからである。しかし研究者の中には「ニュートンがこの話を語ったのは、後年フック (Robert Hooke, 1635 ～ 1703) との間で万有引力に関しての先陣争いが起こった後のことであって、若い時の著述等にはこのエピソードが記載されていない…」という理由から、この話の真偽を疑問視する向きもあるようである。しかし私はそこまで細かく詮索する必要もないと思うので、林檎のエピソードは真実として話をすすめさせていただく。

1666 年 (1665 年とする説もあるが、これはユリウス暦での記述を誤採用しているのではないだろうか?) の或る日の夕暮れ、23 歳のニュートン (Isaac Newton, 1643 ～ 1727) はイングランドのウールズリーフにある実家の農園で林檎の樹の下に座っていた。すると林檎の実がひとつ落ちてきて、彼の頭に当たった。「痛い」と言った後から彼は考えた。いま林檎は地球の中心へ真っすぐ向かうように落ちてきた。何故なのであろう？

ふと空を見上げると月が出ている。その時ニュートンの脳裡に閃いたのは、「林檎を地面へと引っ張る力が何であれ、月が地球の周囲を回っているのと同じ力が関係しているのではないか？」という考えであった。万有引力の発見はここから始まったのである。

万有引力の発見には医学史上の出来事も大きく関係している。ニュートンは1665年ケンブリッジ大学を卒業し、学者としての第一歩を踏み出したのであるが、この年イギリスではペストの大流行が始まった。中世ヨーロッパの人口を激減させた黒死病のパンデミックである。大学は閉鎖され、ニュートンは帰郷し1667年までの2年間、実家の農園で思索にふける毎日を余儀なくされた。後年、その頃の自分を振り返って彼は次のように語っている。「当時、私の頭は最も冴えていた。数学や哲学をあれほど熱心にやったのは自分の人生でこの時が最初で最後である」。ペストの流行がなければ万有引力の法則の発見はずっと後世のこととなり、人類の世界観が中世から近世へと脱皮するのも大きく遅れていたかも知れない。

極く最近になってNHKテレビの番組から得た知識であるが、ニュートンの林檎の樹（もちろん350年前の原樹は枯れてしまっているが、接木によって継代移植されたその子孫）は、ニュートンが万有引力の法則の思索にふけた居室と共に現在もウールズリーフの農園の中に保存されているそうである。そして2010年5月、ニュートンの林檎の樹から作製された小さなブロックが、英国人の宇宙飛行士Piers J. Sellersさんと一緒にスペースシャトル アトランティスで宇宙を旅してきたということである。

廁上、鞍上、枕上

脳科学的に証明されている訳でもないと思うが、昔から良いアイデアが閃く場所として挙げられているのが、廁上、鞍上、枕上である。即ちトイレで蹲っている時、馬の背で揺られながらゆっくり移動している時、そして床の中で半醒半睡の

状態にある時に、良いアイデアが浮かんでくるといふ言い伝えである。

自分自身の経験に照らし合せて考えてみても、この昔からの伝承は案外正しいのではないかと考えている。私の場合はただ単に「次の講演のタイトルやLetterの内容を何にしようか?」「卒業式や入学式の式辞では何を喋ろうか?」などという程度の単純なことばかりなのであるが、早朝の通勤途上の都市高速道路運転中（車の流れに沿って60～70 km/hのスピードで走っている時である）や、早起しなくても良い土曜日の朝、床の中でぼんやりしている時にふと思いつくことが多かったような気がしてならないからである。

しかし今改めてこの現象を考え直してみると、良いアイデアが浮かんだのは、決まって前夜に原稿用紙に向かって、ああでもないこうでもないと呼吟した翌朝の出来事であったような気がしてならない。睡眠中に潜在意識が仕事をしてくれたのではないだろうか?

ニュートンは晩年、「林檎が落ちて来たという単純なことからよく万有引力の法則など難しいことを思いつくことが出来たね」と問われて、ただ一言「それは私がただひたすら考え続けていたからです…」と答えたそうである。

たしかにニュートン以前に、林檎が樹から落ちるのを見たことのある人は何万人もいたことであろう。風呂の水を溢れさせたことのある人間はアルキメデス以前にも無数に居た筈である。準備された状態の中で（アルキメデスは金は同体積の銀より重いということを知っていたし、ニュートンはコペルニクスの地動説やケプラーが説いた惑星の運動の法則をきちんと理解していた）思索に更っていたのであれば、エウレカの瞬間（The eureka moment）は訪れなかった筈である。

「閃く」ということは、「準備するということ」と「考えるということ」の延長線上にある現象なのではないだろうか…。これが今月のLetterでの私なりの結論である。そして皆様、潜在意識にも上手に仕事をさせましょう。

芭蕉はなぜ九州に来なかったか

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

芭蕉は旅行好きであった。旅行記を書いたものだけでも、「野ざらし紀行」「鹿島紀行」「笈の小文」「更科紀行」「奥の細道」と、5篇もある。当時の旅行は徒歩であった。芭蕉は、歩くことを苦にしなかった。奥の細道の大旅行を終えて、岐阜県大垣に着く。弟子たちに歓迎されるが、そのままさらに伊勢に旅立つ。達者なものである。

「奥の細道」の序に、「白河の関をこえたいものとの思いがしきりになって、まるで心狂いさせる神にでも憑かれたかのようなありさま」（竹西寛子訳）と書かれている。これは現代の山男が、山に行きたいという思いにかられるのと、そっくりである。

その芭蕉の旅行が、日本の東北部に限られ

ているのは、理解できない。西日本の中国地方や四国・九州には、芭蕉の興味を引きそうな場所が沢山ある。源平時代の一の谷、屋島、壇ノ浦。南北朝時代の湊川。風景でも、厳島神社は必見である。また九十九島は、松島以上に感激するだろう。雄大な阿蘇の景色を見て、どのように詠むか知りたいところである。

芭蕉は実は、九州へ行くつもりであった。江戸から少し寄り道して、伊賀上野へ行き、九州をめざして奈良・大阪まで来たところで、病に倒れて亡くなってしまった。51歳の若さであった（「世界大百科事典」平凡社）。芭蕉にとつても、われわれにとつても、残念なことである。



与謝蕪村：奥の細道図
「日本の美術」第109号、至文堂、1975年

人体旅行記

「太 腿」(承前)

国立病院機構 九州医療センター 吉住 秀之
医療情報管理センター 部長

女性の素足は人目に触れることが長らくタブーであったことは、この旅行記の中でもすでにお話ししましたが、太腿ともなれば言わずもがなであります。

詩人室生犀星は、女性がスカートをはくようになり、脚を露出するようになったことについて、「これまで、そんなところを見たことのない古男共にとっては、まさに驚嘆の唾を飲みこむほどのものであった」と綴り、続けてこう述べています。

或るものは電車なぞでスカートの間違っ
た身のこなしのために、太腿の一部までも
見られるということだった。この驚きはい
くら驚いても足りない時勢の驚きなのであ
る。そしてわれわれからいえば何と永い間
鎖国状態に、女の人がいたかに気づき、世
の中に出て来た足というものを祝福せざる
をえないのである。

(「手と足について」室生犀星著
『女ひと』、岩波文庫)

「或るものは」などと他人事のように書いていますが、まあ彼自身も見ていたのでしょう。電車に乗るのがさぞかし楽しかったであろうと思われそうですが、明治22(1889)年生まれ of 詩人にとってはこう映ったということです。

斬新なファッションとして「ミニスカート」

が誕生したのは、1961年のロンドンです。ファッションデザイナーのマリー・クワント Mary Quant (1934～) が、自国の自動車 Mini にちなんで命名したことが嚆矢とされます¹⁾。その後1965年のパリコレクションで紹介されてから世界的に大流行します²⁾。この功績で、彼女は1968年にエリザベス女王から大英帝国勲章を授与されています。日本で初めてミニスカートが発売されたのが、1965(昭和40)年で犀星の死後3年経ってからでした。スカートに驚嘆していた詩人が、もしミニスカートをはいた女性を見ていたら車中で卒倒したことでしょう。

- 1) 彼女が命名する前からストリートファッションとして出現していたということで、彼女を考案者とするのを否定する人もいます。しかしこれに限らず現象の本質を鋭く洞察して、一つの形式として命名し確立することが重要なのです。
- 2) 1967年にクワントがモデルのツイギーを伴い来日し、国技館でファッションショーを開催したことで、さらにミニスカートの流行に拍車がかかります。この年発売された初代リカちゃん人形もミニスカートをはいていました。

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 29 年 6 月福岡県私設病院協会の動き

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6 月 2 日 (金) 午後 3 時

場 所 協会会議室

議 題

1. 協議事項

- (1) 11 月研修会のテーマについて
- (2) 情報交換について
- (3) その他

2. 報告事項

- (1) 前回議事録について
- (2) 私設病院協会研修会について
- (3) 私設病院協会 4 ～ 5 月の動き

◎ 広報委員会

日 時 6 月 13 日 (火) 午後 3 時 45 分

場 所 協会事務室

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

◎ 理 事 会

日 時 6 月 13 日 (火) 午後 4 時

場 所 協会会議室

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 平成 29 年度第 1 回福岡県医療審議会について
 - (4) 平成 29 年度第 1 回福岡県医療審議会医療計画部会について
 - (5) 地域医療構想について
 - ① 全日病九州支部連絡協議会「九州各県の地域医療構想の進捗状況報告」について
 - ② 平成 29 年度第 1 回地域医療構想調整会議委員・各医師会担当理事合同会議について
 - ③ 「病床機能報告を利用した急性期指標の検討について」
 - ④ 地域医療構想調整会議私病協代表委員第 4 回合同会議について
 - ⑤ その他

(6) 「福岡県女性医師キャリア形成支援検討委員会」委員について

(7) 平成 29 年度急患診療医療機関との懇談会について

(8) 「日本准看護師連絡協議会」賛助会員加入及び周知依頼について

(9) 職員の賞与について

(10) その他

・「日本医療マネジメント学会第 17 回福岡支部学術集会」の後援について

3. 報告事項

- (1) 私設病院協会
- (2) 看護学校
- (3) 医療関連協業組合
- (4) 全日病本部・全日病福岡
- (5) その他

◎ 第 4 回合同会議

(地域医療構想調整会議私病協代表委員合同会議)

日 時 6 月 13 日 (火) 午後 5 時 30 分

場 所 ホテル日航福岡「オルミール」

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 平成 29 年度地域医療構想調整会議に臨むにあたって
 - (2) 平成 29 年度第 1 回福岡県医療審議会医療計画部会について
 - (3) 「病床機能報告を利用した急性期指標の検討について」
 - (4) その他

◎ 研 修 会

日 時 6 月 29 日 (木) 午後 3 時

場 所 天神ビル 10 号会議室

演 題 「在宅医療でこれだけは知ってほしいこと～総合診療の立場から～」

講 師 (医) 北海道家庭医療学センター

理事長 草場 鉄舟 氏

参加状況 48 施設 95 名

理 事 会

◎ 第46回 理事会 報告

日 時 平成29年 6 月27日 (火) 16 : 00～

場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡 2階

シャンパーニュ

(福岡市博多区博多駅前3丁目3番3号)

出席者 (敬称略)

会 長 石橋

副会長 井上、竹中

理 事 平専務理事、上野総務理事、
澄井財務理事、壁村企画理事、
安藤、飯田、一宮、江頭、大塚、小嶋、
小柳、島、津留、寺坂、深堀、増本、
吉田、吉村

計 21名 (※理事総数 25名)

議 長 岡嶋

副議長 梅野

監 事 津田、原

顧 問 瓦林、八木

I 行政等からの通知文書

上野総務理事から、福岡県知事からの文書「平成 29 年度福岡県病院協会地域医療向上事業費補助金について (通知)」の紹介があった。

II 報告事項

1 公益目的事業関係

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第2回企画委員会

日 時 平成29年 5 月23日 (火) 17 : 00～

場 所 福岡県医師会館 6F 研修室 5

協議事項

1. チラシ、ポスターについて
2. 会場関係の見積りについて

3. 後援依頼に対する回答状況について

増本理事から会議の報告とともに、第 11 回県民公開医療シンポジウムについて、現在までの準備の進捗状況、及びチラシに関して報告があった。

イ 第150回看護研修会

日 時 平成29年 6 月 7 日 (水) 9 : 50～

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ 看護職のためのメンタルヘルス不調者の復職支援

参加者は、110名。

【開催予定】

ア リハビリテーション委員会

日 時 平成29年 7 月13日 (木) 14 : 30～

場 所 福岡県医師会館 研修室 4

イ 第151回看護研修会

日 時 平成29年 8 月18日 (金) 9 : 50～

場 所 ナースプラザ福岡

テーマ 看護技術を磨いてケアの質を向上しよう！

1. 「ナースができるリンパマッサージ」

HANA NURSING THERAPY

代表 山口 晴美

2. 「ノーリフト (持ち上げない看護) によるケアの質向上」

一般社団法人ノーリフト協会

代表 保田 淳子

ウ 第66回栄養管理研修会

日 時 平成29年 8 月19日 (土) 9 : 55～

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ チームで取り組む栄養管理

I 「チームによる実践栄養管理～病院から地域へのアプローチ～」

① “食と栄養” に関する当院の取り組み

公立学校共済組合九州中央病院

リハビリテーション科 部長 竹迫 仁則

② 摂食嚥下チームの取り組み

公立学校共済組合九州中央病院

リハビリテーション科 医長 金城 亜紀

③ チーム医療の実際

公立学校共済組合九州中央病院

NST専従看護師 平山 文江

言語聴覚士(摂食嚥下チーム) 荒巻 浩平

副薬剤科部長(NST) 檜山 智子

管理栄養士(NST) 大中 瞳

II 「チームで学ぶ栄養管理のリスクマネジメント」

久留米大学病院・副院長

医療安全管理 教授・栄養治療部長

田中 芳明

III 「多職種が連携して取り組む地域全体での糖尿病診療水準向上への取り組み」

医療法人社団シマダ嶋田病院

内科部長 赤司 朋之

エ 第3回企画委員会

日 時 平成29年9月12日(火) 17:30～

場 所 未定

オ 第11回県民公開医療シンポジウム

日 時 平成29年9月30日(土) 14:00～

場 所 のがみプレジデントホテル

テーマ 知って得する肝臓病の話

2 収益事業等、法人事務等関係

(1) 各種委員会、研究会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

日 時 平成29年6月27日(火) 15:45～

場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡

協議事項

① 7月号の現況について

② 8月号・9月号の編集について

③ その他

【開催予定】

ア 経営管理研究会

日 時 平成29年7月18日(火) 14:30～

場 所 九州大学医学部百年講堂 大ホール

テーマ 地域医療構想と病院

講 師 産業医科大学医学部

公衆衛生学教室 教授 松田 晋哉

(2) 「第45回理事会」の議事録について

(3) 4,5月分収支報告について

(4) 役員等の活動状況報告について

(5) 会員の變更について

国立病院機構大牟田病院、産業医科大学若松病院、白十字病院、戸畑共立病院から、会員の變更について届け出があった。

(6) 後援の依頼について

「平成29年度心の健康づくり大会(福岡県保健医療介護部長)」及び「日本医療マネジメント学会第17回福岡支部学術集会(福岡支部学術集會長)」について、後援依頼を承諾した。

(7) 福岡県地域医療構想調整会議委員について

当協会から推薦している委員のうち、6名が交代した。

(8) 福岡県医療審議会計画部会資料について

竹中副会長から、説明があった。

(9) 地域医療構想プロジェクト会議について

第1回会議

日 時 平成29年6月27日(火) 14:30～

場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡

(10) 納涼会について

日 時 平成29年 8 月22日 (火)

場 所 割烹よし田 (福岡市中央区天神)

① 18:00～ ほすびたる編集委員会

② 18:30～ 納涼会

(4) 平成29年度福岡県病院協会事業計画書の修正について

本年3月に理事会、総会で一旦承認された事業計画書について、一部変更することになった。

Ⅲ 協議事項

1 公益目的事業関係

(1) 看護研修会の参加料について

看護委員会が、10月に企画している2日間の研修について、参加料をいくりに設定すべきか検討した結果、会員6,000円、非会員12,000円とすることが決まった。

2 収益事業等、法人事務等関係

(1) 入会申込みについて

弥永協立病院(久留米市)、朝倉医師会病院(朝倉市)からの入会申込みが承認された。

(2) 理事の交代について

佐多竹良氏(産業医科大学病院)の退職に伴い、新たに院長に就任された尾辻豊氏(産業医科大学病院)に理事を交代することが承認された。なお、総会で理事への就任が承認されたら、尾辻氏に副会長への就任を依頼することも、併せて承認された。

(3) 参与の委嘱について

各団体から推薦を頂いた方々について、参与の就任をお願いすることを総会に提案することになった。

Ⅳ その他

1 行事予定

ア ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 平成29年 7 月25日 (火)

① 15:45～ ほすびたる編集委員会

② 16:00～ 理事会

場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール 3

イ ほすびたる編集委員会・納涼会について

日 時 平成29年 8 月22日 (火)

① 18:00～ ほすびたる編集委員会

② 18:30～ 納涼会

場 所 割烹よし田 (福岡市中央区天神)

ウ ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 平成29年 9 月28日 (木)

① 15:45～ ほすびたる編集委員会

② 16:00～ 理事会

場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール 3

2 最近の医療情勢等について

島理事が、11月から中医協(中央社会保険医療協議会)の委員に就任されることが紹介された。

九州大学病院

病院長 石橋 達朗

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

地方独立行政法人 福岡市立病院機構
福岡市民病院

院長 竹中 賢治

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町13番1号
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900
E-mail:shiminbyoin@fcho.jp
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp>

医療法人
原三信病院

理事長 平 祐二
院長

〒812-0033
福岡市博多区大博町1-8
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424
URL <http://www.harasanshin.or.jp>

独立行政法人 国立病院機構
小倉医療センター

院長 澄井 俊彦

〒802-8533
北九州市小倉南区春ヶ丘10番1号
電話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072
URL <http://www.kokura-hp.jp/>

地域がん診療連携拠点病院

飯塚病院
innovate and evolve

院長 増本 陽秀

〒820-8505
飯塚市芳雄町3番83号
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744
URL <http://aih-net.com>

独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

院長 江崎 卓弘

〒811-3195
古賀市千鳥1丁目1番1号
電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775
E-mail:shomu@fukuokae2.hosp.go.jp
URL <http://www.fe-med.jp/>



日本医療機能評価機構認定病院
救急告示・開放型 臨床研修病院指定



医療法人

西 福 岡 病 院

理事長 安 藤 文 英
院 長 中 垣 充

〒 819-8555
福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
電 話 (092)881-1331 FAX (092)881-1333
E-mail:jim@nishifukuhp.or.jp
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>



医療法人 福岡桜十字

桜 十 字 福 岡 病 院

理事長 今 村 博 孝
院 長

〒 810-0004
福岡市中央区渡辺通 3 丁目 5 番 11 号
電 話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105
E-mail:fukuoka.info@sakurajyuji.jp
URL <http://www.sj-fukuoka.or.jp/>

医療法人

つ く し 会 病 院

理事長 中 村 奎 吾
院 長 脇 坂 愛 次 郎

〒 816-0902
大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号
電 話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474
E-mail:general-tsukushikai@awa.bbiq.jp
URL <http://www.tsukushi-kai.com/>

医療法人 敬天会

武 田 病 院

理事長 武 田 卓
院 長

〒 814-0104
福岡市城南区別府 4 丁目 5 番 8 号
電 話 (092)822-5711 FAX (092)822-5714
E-mail:keiten.hospital@herb.ocn.ne.jp
URL <http://www.keitenkai.sakura.ne.jp>

医療法人社団 筑山会

松 岡 病 院

理事長 松 岡 嘉 宣
院 長

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1287
電 話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926
URL <http://www.chikuzankai.com/>

医療法人社団 福光会

福 田 眼 科 病 院

理事長 福 田 量
院 長 江 島 哲 至

〒 814-0013
福岡市早良区藤崎 1-24-1
電 話 (092)841-2345 FAX (092)841-2649
E-mail:fukudaganka@nifty.com



日本医療機能評価機構認定病院
救急病院 指定自立支援医療機関（更生医療）

医療法人シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 杉 健 三
院長

〒 837-0916
大牟田市大字田隈 950-1
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077
E-mail:soumu@sugi-hosp.jp



救急告示・開放型病院
特定医療法人 八木厚生会

八 木 病 院

理事長 八 木 博 司
院長代行 三 谷 昌 光

〒 812-0054
福岡市東区馬出 2-21-25
電話 (092)651-0022 FAX (092)631-1919
URL <http://www.yagi.or.jp>

一般社団法人福岡県社会保険医療協会 社会保険田川病院

院 長 田 中 裕 穂

〒 826-0023
福岡県田川市上本町 10-18
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540
E-mail:syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

国家公務員共済組合連合会 新 小 倉 病 院

院 長 渋谷 恒 文

〒 803-8505
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
E-mail:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp
URL <http://www.shin-kokura.gr.jp>

公立学校共済組合

九 州 中 央 病 院

病院長 飯 田 三 雄

〒 815-8588
福岡市南区塩原 3 丁目 23 番 1 号
電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540
URL <http://kyushu-ctr-hsp.com>

医療法人社団 益豊会

今 宿 病 院

理事長 深 堀 元 文
院長

〒 819-0167
福岡市西区今宿 2 丁目 12 番 7 号
電話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417
E-mail:info@imajuku-hospital.gr.jp
URL <http://www.imajuku-hospital.gr.jp>

医療法人社団 江頭会

さくら病院

理事長 江頭 啓介
院長

〒 814-0143
福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp
URL <http://www.sakurahp.or.jp/>



特定医療法人財団 博愛会

博愛会病院

院長 三澤 正

〒 810-0034
福岡市中央区笹丘 1-28-25
電話 (092)741-2626 FAX (092)741-2627
URL <http://www.hakuaikai.or.jp>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

済生会福岡総合病院

院長 松浦 弘

〒 810-0001
福岡市中央区天神 1-3-46
電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185
E-mail:byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

地方独立行政法人

筑後市立病院

理事長 吉田 正
院長

〒 833-0041
筑後市大字和泉 917-1
電話 (0942)53-7511 FAX (0942)53-7515
URL <http://www.chikugocity-hp.jp/>

医療法人 博愛会

京都病院

理事長 岡松 秀一
院長

〒 824-0811
福岡県京都郡みやこ町勝山箕田 298 番地
電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2848
URL <http://www.miyako-hp.or.jp>

早良病院

院長 梅野 守男

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 番 50 号
電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761
URL <http://www.sawara-hp.jp/>

独立行政法人 国立病院機構

大牟田病院

院長 川崎 雅之

〒 837-0911

福岡県大牟田市大字橋 1044-1

電話 (0944)58-1122 FAX (0944)58-6804

URL <http://www.oomuta-h.com/>



(財)日本医療機能評価機構認定
臨床研修指定病院

原土井病院

理事長 原 寛

院長 小柳 左門

〒 813-8588

福岡市東区青葉 6 丁目 40 番 8 号

電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059

E-mail:info@haradoi-hospital.com

URL <http://www.haradoi-hospital.com>

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院

院長 一宮 仁

〒 810-8539

福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号

電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262

E-mail:info@hamanomachi.jp

URL <http://www.hamanomachi.jp>



日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

済生会飯塚嘉穂病院

院長 迫 康博

〒 820-0076

福岡県飯塚市太郎丸 265

電話 (0948)22-3740 FAX (0948)29-1987

E-mail:soumu@iizuka-kaho.jp



医療法人 徳洲会

福岡徳洲会病院

院長 海江田 令次

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

TEL (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733

E-mail:fus@csf.ne.jp

公益社団法人 地域医療振興協会

飯塚市立病院

管理者 武 富 章
兼院長

〒 820-0088

飯塚市弁分 633 番 1 号

電話 (0948)22-2980 FAX (0948)24-3812

E-mail:info-iizukahp@jadecom.or.jp

福岡県立精神医療センター

太 宰 府 病 院

院 長 小 嶋 享 二

〒 818-0125

福岡県太宰府市五条3丁目8番1号

電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060

E-mail:info@dazaifu-hsp.jp

医療法人社団 水光会

宗像水光会総合病院

理事長 津 留 英 智

院 長 田 山 慶 一 郎

〒 811-3298

福岡県福津市日蔭野5丁目7番地の1

電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981

E-mail:hosp@suikokai.or.jp

医療法人 永聖会

松 田 病 院

理事長 松 田 峻 一 良
院 長

〒 812-0053

福岡市東区箱崎2丁目10番2号

電話 (092)651-0522 FAX (092)651-5793

URL <http://www.matsuda-hospital.jp>



日本赤十字社

福岡赤十字病院

院 長 寺 坂 禮 治

〒 815-8555

福岡市南区大楠3丁目1番1号

電話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066

URL <http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp>

医療法人 済世会

河 野 病 院

理事長 河 野 正 美

院 長 今 泉 暢 登 志

〒 811-2431

福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲139

電話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598

E-mail:info@kawano-hp.jp

URL <http://www.kawano-hp.com/kawano/>

社会医療法人 喜悦会

那 珂 川 病 院

理事長 下 川 敏 弘
院 長

〒 811-1345

福岡市南区向新町2丁目17-17

電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460

E-mail:mail@nakagawa-hp.com

URL <http://www.nakagawa-hp.com>



TAGAWA “地方の医療創生は田川から”

田川市立病院

田川市 齋藤 貴生
病院事業管理者

病院長 鴻江 俊治

一般社団法人

福岡県社会保険医療協会

7つの社会保険病院を中心に
地域に根ざした医療を提供

会長 吉村 恭幸

〒810-0001

福岡市中央区天神3丁目7-31 N天神ビル2階

電話 (092)741-9120 FAX (092)751-5950

E-mail: k-yoshimura@iryokyokai.or.jp

URL <http://iryokyokai.or.jp/>

社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

聖マリア病院

病院長 島 弘志

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422

電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

URL <http://www.st-mary-med.or.jp/>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5

電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

URL <http://www.st-mary-med.or.jp/>

日本郵政株式会社

福岡逋信病院

院長 津田 泰夫

副院長 和田 寛也

〒810-8798

福岡市中央区薬院2丁目6番11号

電話 (092)741-0300 FAX (092)781-2563

URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>

医療法人 ユーアイ

西野病院

院長 西野 豊彦

〒820-0206

福岡県嘉麻市鴨生532番地

電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険仲原病院

院長 岡嶋 泰一郎

〒811-2233

福岡県糟屋郡志免町別府北2丁目12番1号

電話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247

E-mail: nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

URL <http://www.nakabaru-hp.jp/>

*掲載は受付順にさせていただきます。

ほすびたる7月号をお届けします。

この度の、九州北部地方を中心とした豪雨で、被災されました方々に、心よりお見舞いを申し上げます。また、一刻も早い復旧をお祈りいたしております。

さて、今月号も皆様よりたくさんの貴重な原稿をお寄せいただきました。おかげさまで、大変読み応えのある「ほすびたる」を刊行することができました。執筆いただきました方々に心より御礼を申し上げます。

今年のヨーロッパは、熱波襲来により猛烈に暑い夏となっているようです。ロンドンでは道路のアスファルトが溶け出したとのニュースもありました。もともとヨーロッパの夏は、日本に比べると湿度が低く、気温が上がっても、木陰に入れば心地よい涼がとれたものでした。全世界的にみられる気候変動は、どこにいても避けられないものようです。

かつては涼しかったドイツの夏ですが、それでもドイツ留学中に“暑くて苦しい”思いをしたことがあります。今から30年以上も前のことですが、ドイツの小都市、バイロイトで毎年7～8月に開かれる「バイロイト音楽祭(R.ワーグナー音楽祭)」に出かけた時のことです。ワーグナーが創設したこの国際的な音楽祭は、ヨーロッパのセレブの社交場としても知られています。幸い、チケットが手に入り、しかも曲目は楽劇「ワルキューレ」。ワーグナーの作品中、高い人気をもち、とくに、作中演奏される「ワルキューレの騎行」は、単独でよく取り上げられる名曲です。ということで大変楽しみにして出かけたのですが……。ワーグナーの時代に建てられたというコンサートホールに入ってみると、中は着飾った満員の聴衆。椅子は硬く狭

い。かなり暑い日でしたがエアコンはない。会場を満たすワーグナーのこったりとした旋律と難解なドイツ語の歌詞の洪水。その繰り返しに思わず溜息をつく周囲のドイツ人からじろりとにらまれる。半分終わったところで休息。タキシード、ドレス姿の紳士、淑女はシャンパン片手に優雅に談笑。私はといえば、ネクタイを緩めて疲労困憊の体。この休憩をはさんで、7～8時間くらいは演奏会場に閉じ込められていました。「ワルキューレの騎行」が出てくるころには、もういい、お腹いっぱいだ、という感じ。やっと終わって美しいバイロイトの街にくだすと、「ワルキューレ」というレストランがありました。そこで飲んだ冷たいビールのおいしかったこと、生き返りました。一息つくと、そういえば、と思い返すことがありました。フライブルグ大学の研究室のボス、ヘルティンゲン教授にバイロイト行きのお話しをした時のこと。自分はこどもの頃、父親に連れていかれたが、大変苦痛であった、以後2度と行っていない、といったずらっぱい笑みを浮かべながら話されたのを思い出しました。その一方で、ワーグナーの音楽には多くの熱烈なファンがおり、ワグネリアンと呼ばれています。その人たちにとってバイロイト行は聖地詣でしょう。大変貴重な経験をさせていただいたのですが、もう一度行くか？と問われれば、ワグネリアンの皆様には申し訳ありませんが、ご遠慮します、と答えるでしょう。エアコンのきいた部屋で、冷たいビールを片手に、「ワルキューレの騎行」を聴くことにします。もちろん、ほすびたるを読みながら。これは、「ほすびたりあんの奇行」と呼ばれています。

(岡嶋 泰一郎 記)

第151回 看護研修会のご案内

開催日 平成29年8月18日（金） 9：20～15：00

場所 ナースプラザ福岡 1F「研修ホール」
福岡市東区馬出 4 丁目10 - 1

参加料 会員病院 1人につき 3,500円
会員外病院 1人につき 5,000円

参加申込締切日 平成29年8月4日（金）

講演Ⅰ 「ナースができるリンパマッサージ」
—浮腫へのアプローチ—

HANA NURSING THERAPY 代表 山口 晴美

講演Ⅱ 「ノーリフト（持ち上げない看護）によるケアの質向上」
—患者さんの安楽と職員の腰痛予防の両立—

一般社団法人ノーリフト協会 代表 保田 淳子

*お問合せは福岡県病院協会事務局（電話092-436-2312）までお願いいたします。
*ホームページを開設しましたので、インターネットからも参加申込みができます。
〈URL <http://www.f-kenbyou.jp>〉

ほすびたる

第 714 号

平成 29 年 7 月 20 日発行

発行 ◎ (公社)福岡県病院協会

〒 812 - 0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092 - 436 - 2312 / FAX092 - 436 - 2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集・発行人 ◎ (公社)福岡県病院協会

制作 ◎ (株)梓書院

〒 812 - 0044 福岡市博多区千代 3 - 2 - 1
麻生ハウス 3F
TEL092 - 643 - 7075 / FAX092 - 643 - 7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…石橋 達朗

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…平 祐二・上野 道雄

澄井 俊彦・増本 陽秀

壁村 哲平・平野 礼子